

## 2年 社会科 学習の指針（シラバス）

### 1. 学習の目的（教科の目標）

#### 〈歴史的分野〉

- (1) 各時代の特色を踏まえて歴史の大きな流れを理解し、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付ける。
- (2) 歴史的なできごとの意義、時代の特色などを多面的・多角的に考えたり、課題を公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力をつける。
- (3) よりよい社会を実現できるように、歴史的できごとにもみられる課題を自分自身の問題として追究し解決しようとする態度を身に付け、自国の歴史への愛情と国民としての自覚、先人ならびに文化遺産の尊重とともに、国際協調の精神を身に付ける。

#### 〈地理的分野〉

- (1) 地域的な特色を理解し、地理に関する情報をまとめる技能を身に付ける。
- (2) 地域的な特色や相互の関連などを多面的・多角的に考えたり、課題解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力をつける。
- (3) よりよい社会の実現をできるように、日本や世界の地域についての課題を自分自身の問題として追究し解決しようとする態度を身に付ける。

### 2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	〈歴史的分野〉 第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 2節 江戸幕府の成立と対外政策 3節 産業の発達と幕府政治の動き	(1) ヨーロッパ人来航の背景、織田・豊臣による統一事業などを基に近世社会の基礎がつけられたことを理解する。 (2) 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 (3) 産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。
	〈地理的分野〉 第3章 日本の諸地域 1節 九州地方～自然とともに生きる人々の暮らし～	(1) 日本の諸地域の地域的特色をとらえるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色を考える。 (2) 地域的特色ある事象を、他の事象と関連付けて考察することを通して、地理的な見方や考え方を身に付ける。
2	第1章 地域調査の手法	・夏休みの課題として設定する。

	<p>第3章 日本の諸地域 2節 中国・四国地方～交通・通信とともに変化する人々の暮らし～</p> <p>第4章 地域の在り方 3節 近畿地方～都市・農村の変化と人々の暮らし～ 4節 中部地方～活発な産業を支える人々の暮らし～ 5節 関東地方～さまざまな地域と結び付く人々の暮らし～ 6節 東北地方～伝統的な生活・文化を受け継ぐ人々の暮らし 7節 北海道地方～雄大な自然とともに生きる人々の暮らし～</p> <p>第2章 日本の地域的特色と地域区分 (歴史的分野)</p> <p>第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展</p>	<p>(1) 日本の諸地域の地域的特色をとらえるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色を考える。</p> <p>(2) 地域的特色ある事象を、他の事象と関連付けて考察することを通して、地理的な見方や考え方を身に付ける。</p> <p>(1) 日本の地形や気候の特色自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。</p> <p>(2) 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結び付き」の四つの観点について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。</p>
3 学 期	<p>(歴史的分野)</p> <p>第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展 2節 欧米の進出と日本の開国 3節 明治維新</p>	<p>(1) ヨーロッパの革命やアジア諸国の動きを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。</p> <p>(2) 明治維新について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。</p>

### 3. 評価

観 点	評価の内容(地理的分野)	評価の内容(歴史的分野)	評価の方法
知識・技能	日本や世界の地域的特色などを理解するとともに、調査や資料から様々な情報を効果的に調べまとめることができる。	日本の歴史の大きな流れを、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、資料から様々な情報を効果的に調べまとめることができる。	①プリントや課題レポート、提出物等の内容 ③ 授業での発言内容 ③ペーパーテスト
思考・判断・表現	地理的事象の意味や特色、相互関連などを多面的・多角的に考えたり、課題解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを基に議論したりできる。	歴史的事象の意味や文化の特徴などを多面的・多角的に考えたり、歴史に見られる課題を公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりできる。	①授業での発言内容 ②プリントや課題レポート、提出物等の内容 ③ペーパーテスト
主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の地理に関する課題について、主体的に追及、解決しようとする態度を持つことができる。	歴史に関する課題について、主体的に追及、解決しようとする態度を持つことができる。	①授業での発言内容 ②提出物（ノート・プリントや課題レポート等）

### 4. 「確かな学力」のためのアドバイス

#### (1) 授業の受け方

- ①学習用具は、教科書・資料集・地図帳・ノート（プリントファイル）・ワークが基本です。作業等で色鉛筆等を使用することがあります。
- ②学習する内容に沿って教材と活動が変わっていくので、先生の指示や質問をしっかりと聞いて課題や作業に取り組めます。
- ③自分がこれまでに見たり聞いたりした地理的、歴史的事象や知っていることは、求めに従って積極的に発表しましょう。

(2) ノートの作り方(とり方)

- ①ノートづくりや授業プリントづくりは教科担任の指示に従いましょう。
- ②後で見返した時に自分がよく分かるように、気付いたことがあったら書いてまとめておくなど、工夫をしましょう。

(3) 勉強のしかた(予習・復習・宿題等)

- ①予習・・・教科書に目を通し、疑問点やわからない点を把握しておきましょう。
- ②復習・・・教科書を音読しましょう。特に太文字の単語は、重要語句なので書けるようにしておきましょう。
- ③宿題・・・授業後や長期休業中に課題を出すことがあります。